

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

教育講演会開催される

10月31日、本校にとってはお馴染みの松本輝彦先生(海外子女教育センター・INFOE 代表)による教育講演会が図書室で開催されました。「渡航から帰国までの生活・学力適応」と題し、6項目に渡り熱のこもった講演が展開されました。その概要をお知らせします。



《教育ニーズの変化・6項目》

- ① 渡航の準備
- ② 渡航後の現地適応・教育
- ③ 現地校・日本語での教育
- ④ 帰国準備(準備・編入)
- ⑤ 日本帰国後の適応・教育
- ⑥ 日本での教育(変化している)



主たる内容を列挙します。(①、②は割愛します。)

- ③ 現地校・日本語での教育について
 - ・海外にいながら、日本人に育てるにはどうすればよいか。
 - ・将来、どちらにすみたいのか。(親が)
 - ・「塾がないのがラッキー」と思う心境。
 - ・最近の子は、日本語力も英語力も低下している。
 - ・現地校で「目一杯」やっている子がほしい(田代氏)
 - ・補習校での勉強が現地校で間に合っている。
- ④ 帰国準備(準備・編入)
 - ・渡航直後は、緊張、興奮期、英語力、基本的な生活習慣の定着。勉強へのストレスが大きいが良い成績を取りたい。保護者の期待に添いたい。→保護者は勉強をサポート、算数数学の計算問題。
「CからBへ、BからA」になる工夫→自信へ。
- ⑤ 日本帰国後の適応・教育
 - ・子どもは不安の塊となる。
 - ・保護者を頼れない。
 - ・帰国後数年間は、家族みんなで頑張り、精神的サポートをしてくれたのに……。

(右上に続く)

- ⑥ 日本での教育(変化している)……日本への適応
 - ・逆カルチャーショック……渡航時より深刻
 - ・米国では外国人、日本では帰国子女は「普通の日本人として要求される」→保護者のケアが必要。
親は・「何でこんなことが分からないの?!」
・当然知っていること、という親の思い込み。
子は・「米国では家族全員でガンバッタのに…」
・「勝手に米国に連れてきたのに……」
 - ・帰国後三ヶ月、渡米時以上にケアが必要。父親の関わり方が大切。
 - ・「帰国子女」の扱いは3年間。
 - ・日本の教育の多様化「自己責任」
 - ・保護者の姿勢
「子どもと共に学ぶ」…知らないサポートできない。
保護者がモデル→親の生活態度が子どもの適応に影響を与える。

◎ 海外で子育てに失敗はない。自信をもって!!

日本の2校からも先生が来てくださいました。



(明德義塾の上田教頭先生)



(茗溪学園の田代先生)



四国高知県にある明德義塾中学・高等学校からは上田淳一教頭先生、茗溪学園中学・高等学校からは田代恵介入試部長先生がディスカッションに加わったり、学校説明、高校生との懇話会に参加され有意義な助言と方向性を保護者、生徒たちに話されました。

また、翌日の日曜日には、三名の先生方による教育相談が三水会館で開催されました。当面する進路相談から、近い将来、進路の選択決定する際の適切なアドバイスをいただきました。

松本先生のお話を聞いたり、面談することによって、保護者としての安心感や方向性を確認された、話された方が多くいました。3人の先生方ありがとうございました。(左は教育相談をする松本先生)

野口聡一宇宙飛行士さんからプレゼント

12月21日、ロシアから宇宙に飛び立つ野口聡一宇宙飛行士さんご自身が、7日(土)補習校に来られ、「補習校のみなさんに配ってください」と「野口さんグッズ」のワッペンが届けられました。とても素敵なデザインです。本日、全員に配りました。今回の野口聡一宇宙飛行士さんは半年間も宇宙に滞在することになるそうです。健康にご留意され、無事、ミッションを果たされますよう申しあげたいと思います。



ヒューストン日本語補習校に学んでいるすばらしさのひとつですね、野口宇宙飛行士さん、ありがとうございました。

高等部でキャリアの授業をしました

31日(土)第4限目、河島先生の代行として高等部で「個性の伸長とキャリア形成」と題し、私(校長)が授業を行いました。始めに「自己理解」に関わって、級友や自分のことをどのように理解しているのかを質問しました。次いで、自己を知る方法などについて学習を展開しました。

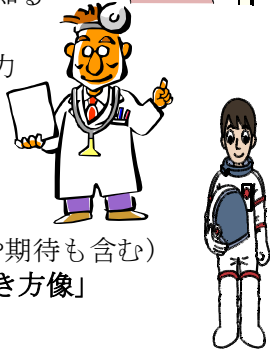
I 現在の自分についての理解

理解する方法

- 1 生い立ちから理解する
- 2 家族を含めて他人から知る
- 3 諸検査(含・通知表)から知る

理解する内容

- 1 自分が自覚している諸能力
 - ① 身体的・運動的能力
 - ② 知的能力
 - ③ 興味・関心・能力
 - ④ 学習への意欲・向上心
 - ⑤ その他(保護者の願いや期待も含む)



II 「将来、自分が望む在り方生き方像」

- 1 職業的自己実現
 - ① どのような職業を選択
 - ② その仕事ができそうか、就けそうか…
 - ② 職業選択の三要素
- 2 社会的自己実現
 - ① どのような家庭を創造するのか
 - ② とどのような社会活動をするのか
- 3 ライフサイクルの設定
 - ① 大学で何を学ぶのか
 - ② 各年代での自分像の設定



(「自己啓発の内容」「自己実現した姿」は次号掲載)

個別面談～保護者からの意見・質問など～⑤

⑩進学セミナーを今年も開催してほしい。

[校長]前ページにも今年度開催した概略を掲載しました。参加者は約50名でした。翌日の教育相談会は、12家庭でした。

また、10月14日、本校主催ではありませんが、サピックス進学講演会には約40名の参加がありました。尚、今後の予定ですが、来年1月23(土)河合塾の説明会を予定しています。今回は、高校、大学への受験生対象者のみへのお話でなく、小学生の転入や中学受験などについても内容に加えてくれるように依頼しています。幅広い進学情報に対応していただく予定です。

⑪ SATの教科は来年度必ず実施してほしい。

[校長]今年度当初、開設予定であったそうですが、先生が見つからず開設できませんでした。来年度につきましては、既に該当先生との面接もしています。とても好感のもてる優秀な人材であると判断しています。SAT受講希望者の期待に応えることができると思っています。

⑫宿題を学年同じものにしてほしい。

[校長]本来的には、宿題は学年同じものが適切であると思っています。ただ、異なる場合は、学習の進度が違う場合や特別な学習課題を与えた場合があります。宿題の性格としては、既習事項の定着を図るもの、予習をするもの、また、日本語理解や使用の定着を図る日記等があります。ご協力願います。

◆パトロール当番予定表11月14日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小2	25	ロバートグレイス
		26	田所葵衣
		27	宇野有紀
		28	久野翔平
		29	安達ひまり
		30	塩田聖菜
		31	阿部佑香
★PM1リーダー	小2	32	藤井 泉
		33	森北和志
		34	青木健成
		36	三輪直暉
		37	佐野詩子
		38	古舘滉基
		39	宮井新平

転出：中村 凌(星) 日本でも元気がいっぱいって下さい。お友だちをいっぱいつってね。

転入：宮崎沙菜(小5A) 宮崎理菜(中2A)

転入を歓迎します。クラスのみなさん、補習校のことを色々教えてあげてください。